

「自由に使える環境作文」使用条件

① 学校提出用に限り著作権フリーとする。そのまま使ってもいいし、手を加えるのも可とする。

② パクリ・コピペがばれた場合、また、この作文を使用して何らかの問題が発生した場合、すべて自己責任（悪いのは自分）とし、センセイに思いっきりしかられること。

③ パクリ・コピペがばれるか不安ならば、使用しないこと。もしくはは適当に手を加えて、オリジナル風に仕上げて提出すること。

④ 他のホームページに転載しないこと。

⑤ 他のホームページから直リンクしないこと

⑥ 「環境作文」から解放された時間で、すてきな夏休みの思い出を作ること。

<http://www.onda-honpo.com/kanryo-sakubin-free/index.html>

なってしまつたものを作っている会社で働く
 人々のことも考えなければならぬ。
 レジ袋を使わなくなることでゴミは少なく
 なるだろうが、レジ袋を作っている会社の人
 たちはどうなるのだろうか。大きな会社なら
 ば、ほかの製品を作るようにするのは容易だ
 ろう。しかし、叔父が勤めているような小さ
 い企業は、すぐにほかの製品を作るといわ
 けにもいかない。新しい機械を導入するのに
 もお金がかかる。新しい取引先を探すのに時
 間も人手もかかる。会社は規模を縮小するか
 倒産してしまふかもしれない。
 最近、我が家ではレジ袋をゴミの袋として
 活用している。叔父を思いやつてのことだが
 ちよつとした工夫で大きなゴミ袋を使わなく
 てすむようになる。たとえば紙パックに入つ
 た牛乳やウーロン茶。飲み終わつたら側面を
 つぶして、クルクルと丸めれば小さくなる。
 肉や魚の入つたパックも軽く水洗いをして、
 はさみで切るとかさばらない。少し手間をか

ければゴミはかなり圧縮される。ゴミでいっ
ぱいのレジ袋を持つとずしりと重い。
レジ袋を何かに利用できないだろうかと考
えないからゴミになる。しかし、いろいろと
工夫をすればレジ袋もゴミ袋に早変わりする
ほかにも活用方法があるかもしれない。みんな
なでいろいろな方法を考えれば、ゴミだった
ものが製品として利用できるようになる。
ゴミの減量の環として、近い将来レジ袋
は有料化になるかもしれない。環境の問題を
考えると当然のことなのだろう。しかし、わ
たしたちはそのため犠牲になる叔父のよう
な人たちの存在を忘れてはならない。
環境と製造の調和を考え、どうすればみんな
が幸せになれるかを考えていくべきだと思
う。作る人たちも困らない、環境を守れる、
難しいがその二つを両立させるのが、二十一
世紀に生きるわたしたちの宿題と思う。
法律を守って、まじめに働いている人が犧
牲になっての環境対策であってはならない。